

エコアクション21 環境活動レポート

(平成23年 4月～平成24年 3月)



作成日：平成24年7月31日



エコライン株式会社

目次

目次	2
環境方針	3
1. 事業概要	4～5
2. 事業規模と産業廃棄物に関する許可	6～9
3. 環境負荷の実績と目標（中・長期環境目標）	10
4. 環境活動計画	11～12
5. 環境目標（短期）に対する実績評価	13
6. 環境関連法規の違反・訴訟など	14
7. 代表者による全体の評価と見直し	15

環境方針

(基本理念)

当社は、解体工事業、廃棄物処理業としての事業活動を行う中で、環境に影響を与える立場であることを認識し、環境問題への対応を経営の重要事項としてとらえ、全社員一丸となって地球環境保全に努めます。

(行動指針)

1. 各事業所の環境に関連する対策として、次のことを推進します。
 - ① 地球温暖化防止として、省エネルギーを推進します。(二酸化炭素排出量の削減)
 - ② 環境汚染防止として、資源の有効利用を目指し、リサイクルを推進します。
 - ③ 節水に努めます。(水使用料の削減)
2. 近隣・地域の環境保全並びに、工場内の環境衛生のために最善の努力をします。
3. 環境関連法規制を遵守し、地域社会との調和に努めます。
4. 環境方針を達成するため、環境目標を設定し、全従業員で取り組みます。

平成19年9月1日 制定

エコライン株式会社

1. 事業概要

(1) 事業所及び代表社名

エコライン株式会社

代表取締役 木村 正利

(2) 所在地

<本社> 〒422-8074 静岡県静岡市駿河区南八幡町25番25号

TEL.054-289-6650 FAX.054-289-6616

※ 平成22年10月1日付けで本社を藤枝市から静岡市へ移転致しました。

<志太営業所> 〒425-0091 静岡県焼津市八楠113番1

TEL.054-621-6650 FAX.054-621-6660

※ 平成24年4月1日付けで藤枝営業所を藤枝市から焼津市へ移転致しました。

<中間処理場> 〒425-0091 静岡県焼津市八楠113番1

TEL.054-621-0010 FAX.054-621-0008

<本店> 〒422-8510 静岡県静岡市葵区鷹匠一丁目1番1号

※ 本店は、登記簿記載上の所在地であり、実際の事業活動は行っていない

(3) 環境管理責任者

常務取締役 藤本 剛

(4) 連絡先

環境管理事務局 石川 知由

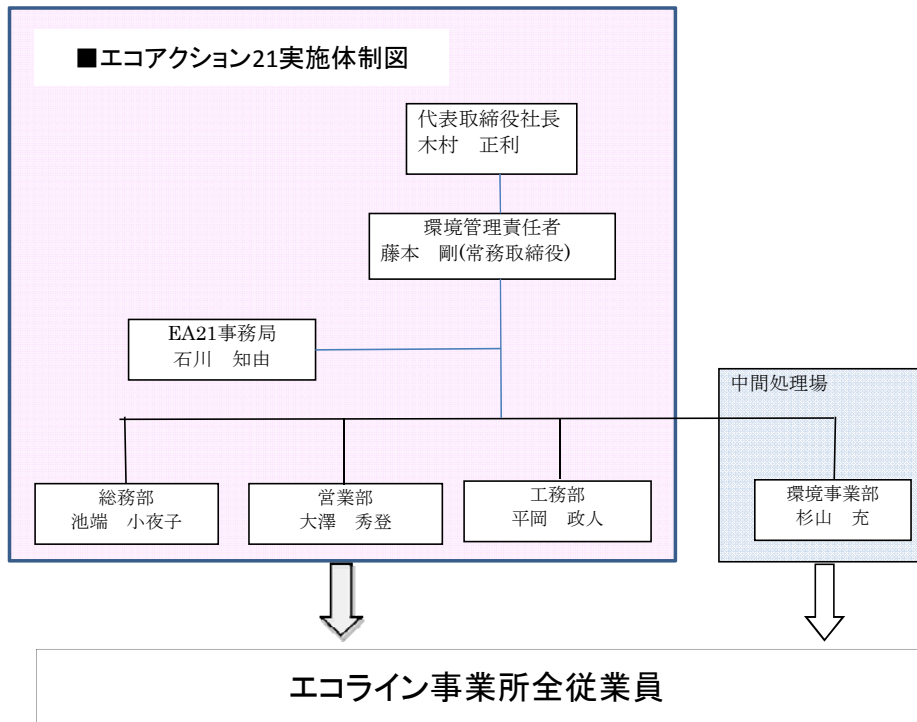
TEL.054-289-6650 FAX.054-289-6616

E-Mail.ecoline@mx.netinsz.ne.jp

(5) 主な事業内容

建物解体工事の請負、産業廃棄物・一般廃棄物の収集、運搬及び処理処分

(6) 実施体制



■ 役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
最高責任者	代表取締役社長	1. EA21の実施及び管理に不可欠な資源の用意 2. 環境方針の策定及び見直し 3. 環境管理責任者の任命
環境管理責任者	常務取締役	1. 最高責任者に代わってシステムを構築し、運用する。 2. 最高責任者に結果を報告する
総括管理部	EA21事務局	1. 環境管理責任者に代わってデータの収集を行う 2. 各部署へEA21の達成目標を周知する 3. 各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者に報告する 4. 必要な教育訓練を計画し、実施する
部門長	各課長及びリーダー	1. 省資源、省エネ、節水を奨励及び推奨する 2. 必要な教育訓練を計画し実施する 3. EA21の目標達成を推進及び確認し、環境管理責任者の了承の下、必要な是正処置、改善を実施する 4. 公害防止、緊急事態への予防処置を実施する
全社員		1. 部門長の下、省資源、省エネ、節水に努める 2. EA21の取り組みに関する教育訓練を実施する

2. 事業規模と建設業及び産業廃棄物に関する許可

(1) 事業規模(本社及び中間処理場)

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
売上高(百万円)	1,120百万円	1,034百万円	1,162百万円	717百万円	717百万円			
従業員数								
正社員	18	26	26	26	26			
(人)								
パート	5	4	4	6	6			
合計	23	30	30	32	32			
敷地面積(m ²)	1,041.42m ²	1,041.42m ²	1,041.42m ²	1,148.71m ²	1,148.71m ²			

決算月は3月である。なお、3月末時点での本社は現在の藤枝営業所です。平成22年10月より本社は静岡に移転された。

(1-①) 事業規模(本社)

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
売上高(百万円)	1,023百万円	951百万円	1,076百万円	623百万円	1,076百万円			
従業員数								
正社員	14	21	21	21	21			
(人)								
パート	1	-	-	-	-			
合計	15	21	21	21	21			
敷地面積(m ²)	87.84m ²	87.84m ²	87.84m ²	195.13m ²	195.13m ²			

(1-②) 事業規模(中間処理場)

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
売上高(百万円)	97百万円	83百万円	86百万円	94百万円	86百万円			
従業員数								
正社員	4	5	5	5	5			
(人)								
パート	4	4	4	6	4			
合計	8	9	9	11	9			
敷地面積(m ²)	953.58m ²	953.58m ²	953.58m ²	953.58m ²	953.58m ²			

(2) 建築業及び産業廃棄物に関する許可

<建設業許可>

地域	許可番号	許可の有効年月日	事業の区別・建設業の区分
静岡県知事許可(特-19)	第032383号	H25年 2月13日	特定建設業
			(種類)
			土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業

<産業廃棄物収集運搬業許可>

地域	許可番号	許可の有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
静岡県	第 2201103973号	H25年 6月5日	産業廃棄物収集運搬(積替え及び保管行為を除く)
			(種類) 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、汚泥、廃油、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ 以上10品目
東京都	第13-00-103973号	H24年 8月26日	産業廃棄物収集運搬(積替え、保管行為を除く)
			(種類) 汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上10品目
神奈川県	第 1405103973号	H24年 9月 3日	産業廃棄物収集運搬(積替え、保管行為を除く)
			(種類) 汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上10品目
豊橋市	第09600103973号	H25年 6月29日	産業廃棄物収集運搬(保管・積み替えを除く)
			(種類) 廃油、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上5品目

<特別管理産業廃棄物収集運搬業許可>

地域	許可番号	許可の有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
静岡県	第 2251103973号	H28年 4月16日	特別産業廃棄物収集運搬（積替え及び保管行為を除く） (種類)
			特定有害廃石綿等 以上1品目
京都府	第02650103973号	H28年 5月14日	特別産業廃棄物収集運搬（積替え及び保管を含まない） (種類)
			廃石綿等 以上1品目
東京都	第13-54-103973号	H28年 7月23日	特別産業廃棄物収集運搬（保管・積替えを除く） (種類)
			廃石綿等 以上1品目
神奈川県	第 1455103973号	H28年 9月24日	特別産業廃棄物収集運搬（保管・積替えを除く） (種類)
			廃石綿等 以上1品目

<産業廃棄物処分業許可>

地域	許可番号	許可の有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
静岡県	第 2222103973号	H27年 9月29日	中間処分
			破砕処分・・・廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず
			圧縮処分・・・金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
			圧縮成形処分・・・廃プラスチック類

<一般廃棄物（ごみ）処理業許可>

地域	許可番号	許可の有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
藤枝市 藤環指	第 23号	H24年03月31日	一般廃棄物収集運搬業
			一般廃棄物（ごみ）一ごみ除くー
焼津市 焼廃許可指令	第 54-1号	H24年03月31日	一般廃棄物収集運搬業
			一般廃棄物（木くず・紙くず・繊維くず）
牧之原市 牧之原市許可	第 21-7号	H25年 5月14日	一般廃棄物収集運搬業
			一般廃棄物（木くず、紙くず）ビン、缶ペットボトル、鳥の死骸
吉田町 吉田町許可	第 20-5号	H24年12月23日	一般廃棄物収集運搬業
			一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥又は感染性でないものに限る）

(2) 保有車両・重機について

車両の種類		自動車登録番号	最大積載量	備考欄
トヨタ	ダンプ	静岡400す8695	2,000kg	産廃登録車両
いすゞ		静岡400つ4102	2,000kg	〃
いすゞ	キャブオーバ	静岡100す761	3,500kg	〃
		静岡100す6564	3,450kg	〃
スズキ		静岡41き9980	350kg	〃
いすゞ	脱着装置付コンテナ	静岡100す1762	3,700kg	〃
		静岡100す2336	3,700kg	〃
ホンダ	軽バン	静岡480い6393	350kg	〃
車両の台数（産廃登録車両）			8台	
トヨタ	ダンプ	静岡400す8695	2,000kg	特管登録車両
いすゞ		静岡400つ4102	2,000kg	〃
いすゞ	キャブオーバ	静岡100す761	3,500kg	〃
		静岡100す6564	3,450kg	〃
スズキ		静岡41き9980	350kg	〃
いすゞ	脱着装置付コンテナ	静岡100す1762	3,700kg	〃
		静岡100す2336	3,700kg	特管登録車両
ホンダ	軽バン	静岡480い6393	350kg	〃
車両の台数（特管登録車両）			(8台)	
車両の種類		自動車登録番号	最大積載量	備考欄
トヨタ	ダンプ	静岡400す8695	2,000kg	一般産廃登録車両
いすゞ		静岡400つ4102	2,000kg	〃
スズキ		静岡41き9980	350kg	〃
いすゞ	脱着装置付コンテナ	静岡100す1762	3,700kg	〃
		静岡100す2336	3,700kg	〃
車両の台数（一般産廃登録車両）			(5台)	
トヨタ	ヴィッツ	静岡501さ4927	1台	営業車両
	パッソ	静岡501せ4901	1台	〃
		静岡501せ8048	1台	〃
	プリウス	静岡300ふ2551	1台	〃
		静岡300め4647	1台	〃
	アクシオ	静岡501て5200	1台	〃
	ラクティス	静岡501て1436	1台	〃
	プロボックス	静岡400つ6268	1台	〃
		静岡400て243	1台	〃
静岡400て396		1台	〃	
スズキ	Kei	静岡580く5941	1台	〃
		静岡580す671	1台	〃
		静岡580す1908	1台	〃
ホンダ	アクティバン	静岡480い6393	1台	〃
ダイハツ	アトレー	静岡41く668	1台	〃
車両の台数（営業車両）			15台	
ストロングクラッシャー（破碎機）			1台	工場内重機
油圧ショベル			1台	〃
日立 バックホウ			1台	解体現場重機
重機の台数（工場内及び解体現場）			3台	
合計	車両：23台、作業重機：3台（産廃、特管車両重複）			

(3) 処理実績

<中間処理>

項目	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
産業廃棄物 (t)	3,604.00	3,821.21	4,387.38	5,272.80	2,925.66	2,854.29
一般廃棄物 (t)	—	—	—	—	—	—
有価物 (t)	(内105.40)	(内167.40)	(内157.5)	(内649.2)	(内698.9)	(内1955.5)
合計 (t)	3,604.00	3,821.21	4,387.38	5,272.80	2,925.66	2,854.29

<収集運搬>

項目	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
産業廃棄物 (t)	4,217.14	4,685.65	9,578.35	6,862.01	23,923.00	2,315.00
一般廃棄物 (t)	6.19	7.27	9.34	10.25	—	—
有価物 (t)	—	—	—	—	(内)	(内)
合計 (t)	4,223.33	4,692.92	9,587.69	6,872.26	23,923.00	2,315.00

(4) 廃棄物処理料金

廃棄物の内容及び運搬等により料金が異なりますのでご相談下さい。見積もりは無料です。

3. 環境負荷実績と目標

中・長期環境目標H22年度(H22年4月～H23年3月)～H24年度(H24年4月～H25年3月)

(1) 二酸化炭素排出量(目標設定は、H18年度実績を基準=100%とする)

項目	H18年度 (基準)	H22年度 (実績)	H22年度 (目標)	H23年度 (実績)	H23年度 (目標)	H24年度 (目標)
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	145,929.87 100.00%	154,579.42 105.93%	138,633.37 95.00%	141,679.37 97.09%	137,174.07 94.00%	135,714.77 93.00%
購入電力による排出量. (kg-CO ₂)	15,797.75 100.00%	25,671.87 162.50%	15,007.87 95.00%	21,324.49 134.98%	14,849.89 94.00%	14,691.91 93.00%
購入電力消費量. (kwh)	41,793.00 100.00%	67,915.00 162.50%	39,703.35 95.00%	56,414.00 134.98%	39,285.42 94.00%	39,867.49 93.00%
ガソリンによる排出量. (kg-CO ₂)	81,632.63 100.00%	86,743.70 106.26%	77,551.00 95.00%	77,055.90 94.39%	76,734.67 94.00%	75,918.34 93.00%
ガソリン消費量. (ℓ)	35,161.32 100.00%	37,362.79 106.20%	33,403.25 95.00%	33,190.00 94.39%	33,051.64 94.00%	32,700.03 93.00%
軽油による 排出量.(kg-CO ₂)	48,499.48 100.00%	42,151.20 86.91%	46,074.51 95.00%	43,298.99 89.28%	45,589.51 94.00%	45,104.52 93%
軽油消費量. (ℓ)	18,480.34 100.00%	16,061.64 86.91%	17,556.32 95.00%	16,499.00 89.28%	17,371.52 94.00%	17,186.72 93.00%

(2) 廃棄物排出量

項目	H18年度 (基準)	H22年度 (実績)	H22年度 (目標)	H23年度 (実績)	H23年度 (目標)	H24年度 (目標)
紙・ビン・缶・ペットボトル・厨芥ごみ等 (kg)	1068.20 100.00%	692.00 68.19%	1014.79 95.00%	1825.00 170.85%	1004.11 94.00%	993.43 93.00%

(3) 総水使用量

項目	H18年度 (基準)	H22年度 (実績)	H22年度 (目標)	H23年度 (実績)	H23年度 (目標)	H24年度 (目標)
水道水 (m ³)	542.20 100.00%	3,263.00 601.80%	515.09 95.00%	1,957.50 361.03%	509.66 94.00%	504.24 93.00%

4. 環境活動計画 ※別紙のとおり

<事務所>

- (1) 二酸化炭素排出量削減のための取り組み
 - ① 電気使用量の削減
 - (i) エアコン設定温度(夏季:28℃、冬季:23℃に設定)
クールビズ・ウォームビズの事務所内での奨励
 - (ii) 照明灯のこまめな切り替え
 - (iii) 使用後の機械及び使用しない機械の電源をOFF
スイッチ等への節電表示
 - ② 化石燃料の削減
 - (i) 重機及び機械のアイドリングストップ
 - (ii) 営業車及び運搬車のエコドライブ教育(ゆったり運転)
 - (iii) 社有車、車両購入時エコカー導入の検討
- (2) 水使用量の削減
 - (i) 水の出しっぱなしをしない(節水表示)
 - (ii) 必要以上に水を流さない
- (3) 廃棄物総排出量の削減
 - (i) オフィスごみの減量に努める
 - (ii) ビン・缶・ペットボトルの分別の徹底
- (4) 紙類使用量の削減
 - (i) コピー用紙の裏紙利用
 - (ii) ミスコピーの削減(パソコンよりの印刷はプレビューにて確認後行う)
- (5) グリーン購入の促進
 - (i) 事務用品等エコマーク商品の購入
 - (ii) グリーン購入法適合商品の購入
- (6) 環境保全意識の向上
 - (i) 社員教育の実施
 - (ii) 環境方針の周知徹底
- (7) 地域環境
 - (i) 地域清掃活動への参加

<解体現場>

- (1) 二酸化炭素排出量削減のための取り組み
 - ① 電気使用量の削減
 - (i) 使用後の機械及び使用しない機械の電源をOFF
 - ② 化石燃料の削減
 - (i) 重機及び機械のアイドリングストップ
 - (ii) 軽油使用車へのバイオディーゼル燃料の利用による化石燃料の削減
- (2) 建設廃材の削減
 - (i) 建設廃材の分別化
 - (ii) 解体現場より発生した廃材及び資材は再利用する
- (3) 水使用量の削減
 - (i) 水の出しっぱなしをしない
 - (ii) 埃等の粉塵対策用散水についても、削減を心がけるよう下請けに対して指導する
- (4) 環境保全意識の向上
 - (i) 社員教育の実施
 - (ii) 環境方針の周知徹底

＜中間処理センター＞

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取り組み

① 電気使用量の削減

- (i) エアコン設定温度 (夏季: 28°C、冬季: 23°Cに設定)
- (ii) 照明灯のこまめな切り替え
- (iii) 使用後の機械及び使用しない機械の電源をOFF

② 化石燃料の削減

- (i) 重機及び機械のアイドリングストップ
- (ii) 営業車及び運搬車のエコドライブ教育
- (iii) 重機へのバイオディーゼル燃料の利用による化石燃料の削減

(2) 水使用量の削減

- (i) 水の出しっぱなしをしない
- (ii) 手洗いなどの残り水を利用し、埃対策を実施している。

(3) 処理センターの環境への取り組み(再生使用割合の増加、最終処分割合の減少を目標とする)

- (i) 素材別の分別を徹底する
- (ii) マテリアルリサイクル→サーマルリサイクル→最終処分の順で、リサイクル率を高める
- (iii) 近隣住民に対して騒音・振動を防止する

(4) 環境保全意識の向上

- (i) 社員教育の実施
- (ii) 環境方針の周知徹底

5. 環境目標（短期）に対する実績評価

運用期間（H22年4月～H23年3月）

（1）二酸化炭素排出量

項目	H23年度 目標	H23年度 実績	評価 (達成○、不可×)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	137,174.07	141,679.37	×
対目標、対前年 (%)	94.00%	97.09%	
購入電力による排出量 (kg-CO2)	14,849.89	21,324.49	×
対目標、対前年 (%)	94.00%	134.98%	
購入電力消費量 (kwh)	39,285.42	56,414.00	×
対目標、対前年 (%)	94.00%	134.98%	
ガソリンによる排出量 (kg-CO2)	76,734.67	77,055.90	×
対目標、対前年 (%)	94.00%	94.39%	
車両台数	23台	21台	×
一台あたりの消費量	14,370.03	1,580.48	
ガソリン消費量 (ℓ)	33,051.64	33,190.00	×
対目標、対前年 (%)	94.00%	94.39%	
軽油による排出量	45,589.51	43,298.99	○
対目標、対前年 (%)	94.00%	89.28%	
車両台数	7台	6台	○
一台あたりの消費量	2,481.66	2,749.83	
軽油消費量 (ℓ)	17,371.52	16,499.00	
対目標、対前年 (%)	94.00%	89.28%	

（2）廃棄物排出量

項目	H23年度 目標	H23年度 実績	評価 (達成○、不可×)
紙・ビン・缶・ペットボトル・厨芥ごみ等 (kg)	1014.79	692.00	○
	95.0%	64.8%	

（3）総水使用量

項目	H23年度 目標	H23年度 実績	評価 (達成○、不可×)
水道水 (m ³)	515.09	3,263.00	×
	95.00%	601.81%	

【評価】

環境活動取組み結果・評価

環境目標	活動	実施状況	評価・今後の取組方向
購入電力量	エアコン設定温度(夏:28℃、冬:23℃)	○	ブラインドの利用、クールビズ・ウォームビズ期間の設定などで空調の節電、また、不要箇所の電気を消灯による節電ができてきた。今後も継続的に実施。
	クールビズ・ウォームビズの事務所内での奨励	○	
	消灯のこまめな切り替え	○	
	使用後の機械及び使用しない機械の電源をOFF	○	
化石燃料の削減	重機及び機械のアイドリングストップ	○	現場監督による現場作業員への指導の徹底とドライビングスクールでのエコドライブ運転講習の参加により、燃費の向上ができた。今後も継続的に実施。
	社有車、車両購入時エコカー導入の検討	○	
	営業車及び運搬車のエコドライブ教育	○	
水使用量の削減	水を出しっぱなしにしない(節水表示)	○	安全パトロール時のチェック項目にも入れ、エアコン室外機から出る水の利用など、節水ができた。今後も継続的に実施。
	必要以上に水を使わない	○	
廃棄物総排出量の削減	ごみの分別の徹底により、オフィスのごみの減量	○	ごみ箱の中のごみについて再利用できるものを徹底的に分別。前回より引き続き、分別の徹底を行っている。従業員への意識付けはできている。今後も継続的に実施。
	ビン・缶・ペットボトルの分別の徹底	○	
紙類使用量の削減	コピー用紙の裏紙利用	○	社内の会議資料などについては、裏紙の利用を徹底。全員に徹底されていない。また、プレビューの確認忘れをしてしまう。今後も継続的に推進する。
	ミスコピーの削減(パソコンよりの印刷はプレビューにて確認後行う)	△	
建設廃材の削減	建設廃材の分別化	○	工事担当者が積極的に現場で分別の指導。現場監督が、再資源が可能なものについては、分別収集を徹底していく。
	解体現場より発生した廃材及び資材は再利用する	○	
処理センターの環境への取り組み	素材別の分別を徹底する	○	現場作業員への教育指導により、細かな分別への努力。分別により、埋立処分量の削減。継続的に実施。
	リサイクル率を高める	○	
グリーン購入の促進	事務用品等エコマーク商品の購入	○	総務中心となり、今後も継続的に実施。
	環境保全意識の向上	社員教育の実施	○
	環境方針の周知徹底	○	
地域環境	地域清掃活動への参加	△	事務所前などの、公共の歩道の落ち葉やゴミ拾いなど、今後も継続実施。

6. 環境関連法規への違反・訴訟等

(1) 環境関連法規等の遵守状況（確認日：2012年6月30日）

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用対象	法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物収集運搬業者	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	収集運搬業許可の更新・変更届出	期間満了日・変更事項の有無	○
		業務計画書・実績書の提出	提出期限日の確認	○
		廃棄物排出事業所との委託契約	契約内容の確認及び契約（書）の締結	○
		マニフェストの管理	D票、E票の返却	○
		マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
		マニフェストの保管	5年間	○
		不法投棄の禁止	不法投棄を行わない	○
		廃棄物の悪臭・飛散防止	適正な輸送及びカバーを被せる等の処置	○
	家電リサイクル法	指定家電の回収・運搬	テレビ・冷蔵庫等	○
	建設リサイクル法	分別解体及び再資源化		○
	騒音規制法	静岡県生活環境の保全に関する条例・施行規則	いずれも対象外施設であるが地域住民に対し配慮する	○
	悪臭防止法			
	振動規制法			
浄化槽法				
大気汚染防止法(粉塵)				

適用対象	法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	遵守
				状況
解体業者	建設業に関する法律	建設業許可の更新・変更届出	期間満了日・変更事項の有無	○
		マニフェストの管理	D票、E票の返却	○
		マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
		マニフェストの保管	5年間	○
	労働安全衛生法			○
	家電リサイクル法	指定家電の回収・運搬	テレビ・冷蔵庫等	○
	建設リサイクル法	分別解体及び再資源化	80㎡以上の物件	○
	騒音規制法	静岡県生活環境の保全に関する条例・施行規則	作業開始7日前に各市町村の環境保全課への届出	○
	振動規制法			
	悪臭防止法			
	大気汚染防止法(粉塵)			
下水道法				
土壌汚染対策法		地域住民に対し配慮する	○	
事業者全般	環境基本法	一般的な自主努力	E21への積極的な取組	○
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
	グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	○
	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
	消防法	火災の予防	車両の火災予防	○

(2) 違反・訴訟等の有無

過去3年において関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し

当社が、エコアクション21をキックオフしてから2年が過ぎようとしております。

基本理念の大題目でもある、地球環境保全に努めるべく、二酸化炭素削減（CO2削減）、資源の有効利用、節水に努めようの3本柱で取り組んでおります。

CO2削減については、社員全員が、日々の車の走行チェックの継続から、新規事業によるカーボンオフセットによるCO2削減等、数字上は、増車により目標値はクリアできませんでしたが、確実に社員の意識向上が進んでおります。併せて、本社事務所において、LED蛍光灯に切り替えることによる、CO2削減も推し進めております。

資源の有効利用におきましては、グループ内での事業系産業廃棄物を処理させて頂きながら、資源分別の重要性を社内に浸透させています。

解体現場での節水については、毎週工事担当部会において、確認しており確実に節水意識は、向上してきております。数値上で見ますと、一見、目標が達成できていないように見えますが、実際には、取組当初含めていなかった、解体現場での水の使用量も含めております。今後は、目標数値の見直しをし、継続して削減に努めていきます。

少しずつの前進が大きくは、地球環境保全につながる事を信じつつ次なる課題にチャレンジして行きたいと考えます。

エコライン株式会社

代表取締役 木村正利

エコアクションリーダー会の様子



事務所 エアコン消し忘れ表示



男子トイレ消灯注意の表示



事務所ごみ分別の様子



ボランティア活動(高松公園清掃)



ボランティア活動(高松公園清掃)



エコライン(株)の南相馬市への災害支援

バイオディーゼル燃料の受け渡し



支援物資搬入の様子①



支援物資搬入の様子②



南相馬市ボランティアセンターにて



南相馬市に目録の贈呈



災害の様子

